

英語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【コミュニケーション能力向上に対する知識・技能】【英語に関する思考・判断・表現の能力】

- ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション能力を身に付けさせる。
- ・外国語で話したり、書いたりして自分の考えを表現させていく。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・話す活動を意欲的に行うことができる。 ・英文を正しい発音で読むことに加え、自身のことを話す訓練をしていく。 ・英文を書く活動になると、苦手意識から作業が止まってしまう生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループでの活動を多く取り入れ、さまざまなテーマで会話する。 ・単元末にスピーチやインタビューテストを行う。 ・会話した内容を書く活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜 ・毎回 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・話す活動は積極的に行うことができる。 ・授業中の発言が多い。 ・英語そのものを苦手とする生徒が限定されてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の協力を求めながら家庭学習を徹底させ、宿題を毎回チェックする。 ・復習確認テストを取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回 ・適宜 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・話す活動は積極的に行うが、書く活動に関しては苦手意識を感じている生徒が多い。 ・授業中に頑張って発言する生徒は多いが、自発的に家庭で地道に単語や文章を書いて覚える生徒は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の5領域について、授業で繰り返し指導を行う。 ・高校入試の過去問などを使い、長文問題の解き方を指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回 ・毎回 	
<p>■主体的・対話的で深い学びに関連して</p> <p>1年 課題提示の工夫、ペアワークの充実</p> <p>2年 課題提示の工夫、グループ活動の充実</p> <p>3年 課題提示の工夫、表現活動（会話・英作文）の充実</p>		<p>■1人1台端末の活用に関連して</p> <p>1年 1人1台端末の活用は5技能のどの領域で発揮するかを検証</p> <p>2年 1人1台端末の活用は5技能のどの領域で発揮するかを検証</p> <p>3年 1人1台端末の活用は5技能のどの領域で発揮するかを検証</p>		